

# レジデンス便り 第236号

発行：レジデンス日進家族会

## せとものまつりに出店しました

9月13日、14日に開催された「せとものまつり」に今年も出店しました。現在は名東福祉会のアート部門を担当してもらっている三上さんが中心となって、もう30年以上にわたって法人の陶芸作品の販売をしています。



出店当初は相当な売り上げがありましたが、現在は売り上げよりも、利用者が作った作品を「知ってもらう」「見てもらう」「触れてもらう」がメインになりつつありますが、1年間かけてストックした力作を買っていただく大きなイベントです。



今年は2日間ともはっきりしないお天気で、三上

さんをはじめ、各事業所からお手伝いに行ってもらった職員は大変だったと思います。

ご苦労様でした。

## 新たな講師をお迎えして・・・

國島先生がお辞めになられて、後任の林晶子さんをお迎えしての和太鼓活動が始まりました。先月号でご紹介させていただいたとおり、利用者と職員がずっと國島先生に和太鼓を通じて関わっていただけてきましたので、新しい講師になってどうなるのか正直、多少の不安はありました。



私の心配はどれも取り越し苦労だったようで、職員の報告によると、これまでの流れを汲んでスタートさせてくださったので、順調な滑り出しだったようです。



## 歯科検診がありました

レジデンス日進・上ノ山ホームでは、少しでも長く自分の歯で食事をしてもらいたいという思いから、できる限り歯科受診に行くことにしています。受診先は障害者専門の歯科から一般の歯科まで5~6箇所の医療機関をひとりひとりの特性を考慮しながら選択をして受診します。

診察台に座って口を開けてもらうことは簡単ではなく、何人かの利用者は、実際に治療や処置はできなくても「歯医者さんに行く」ことに慣れてもらうところから始めたりもしています。

ただ、利用者の平均年齢が高くなるにしたがって受診の頻度が上がってきています。事業所からの受診はほとんどが1対1の対応ですし、医療機関も日進市内に限られるわけではありませんのでそれなりに負担はあります。

今のところご家族が協力してくださり、自宅から通院というケースもありとても助かっていますが、今後に向けて何らかの工夫がいるという話は以前から出ていました。看護師さんから訪問歯科を入れてみてはどうかという提案があり、本日、医療法人さくら会訪問歯科診療相談室の先生に来ていただいたの検診がありました。

今後は定期検診という形で訪問していただき、必要に応じて歯石等を除去いただくことになりそうです。



今日はお試しで26名の利用者が診てもらいました。初回で緊張していたのか、皆さん思ったよりも動かないで口を開けることができました。

## 「薔薇の会」が発足しています

第3水曜日は家族会のお掃除日となっています。職員だけでは手の回らないところもあり、とても助かっています。暑い中、草取りもしていただきありがとうございました。

お掃除のあとに、昨年度まではa n・a nという名称で活動していた家族会の自主グループが、今年度から「薔薇の会」という名前で活動を開始しています。

今回は、すでに見学に行かれた施設と病院の報告があり、「家族が病気になって子供を見られなくなった」「子供が病気になった」場合はどうなるのかという話題が出ました。おそらくレジデンス日進と上ノ山ホームの利用者のご家族が最も心配されているテーマかと思います。

この課題は、ご家族だけの話ではなく、事業所にとっても大きな問題です。心配が確実に解消される特別な対策は持ち合わせていませんので、家族と事業所と一緒に考えていかなければならない重要事項です。

とりあえず、これまで病気になった利用者がどのような経緯をたどったのかをお話しさせてもらいました。シビアな話題ではありますが、避けてはとおれませんので、しっかりと向き合っていきたいと思います。

## お知らせ

10月1日(水)は家族会定例会です。

家族会役員会やレジデンス日進・上ノ山ホームからの報告や連絡の場です。

また、た家族同士が近況を語り合う貴重な時間にもなっています。

ぜひ、参加してください。

当日は10:00から始まります。